

「言っても、言わなくても大丈夫」

多様な性のあり方にふれる、人権啓発講演会を開催



前川直哉 まえかわ・なおや
1977年生まれ。兵庫県尼崎市出身。東京大学教育学部卒業。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(人間・環境学)。灘中学校・高校教諭を経て2014年に福島に転居、一般社団法人「ふくしま学びのネットワーク」を設立して理事・事務局長。18年4月からは福島大学特任准教授。

■ リード文

田村市は7月12日、市文化センターで市内中学2年生を対象に人権啓発講演会を開催、生徒276人と引率職員が聴講。田村市の主催、田村市教育委員会、郡山人権擁護委員協議会田村市人権擁護委員会の共催。

■ 本文

福島大学教育推進機構高等教育企画室准教授 前川直哉氏は「誰もが生きやすい社会へ 多様な性と性的マイノリティ」と題した講演のなかで、何らかの意味で「性」のあり方が大多数の人と異なる人(マイノリティ)は医学的に病気や異常ではない。見た目ではわからず、身近に「いない」のではなく「言えない」人が存在することを説きながら、『言っても言わなくても大丈夫』。そんな雰囲気クラスを作り上げてほしいと語りかけた。

また、「男子だから」「女子らしく」など男性・女性を前提としない物事の考え方の大切さにもふれ、聴講した生徒は大きくうなずきながら聞き入っていた。

(本事業は昨年度から実施している)